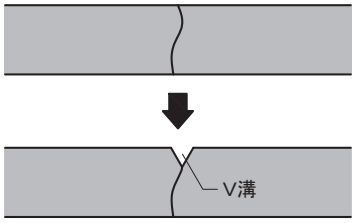
7　参考資料（モエンの補修方法）

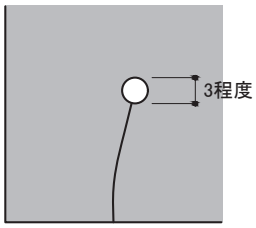
8）クラックの補修

※下地や躯体の動きを考慮したパテ補修を行う場合は、弾性パテを使用してください。
（推奨パテ：オートンアドハー3500　オート化学工業㈱製）

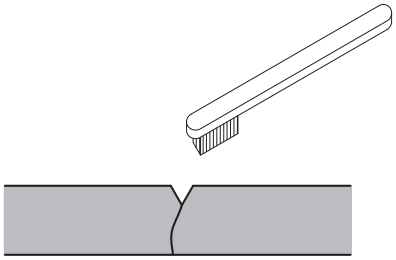
①V溝の加工
●カッターナイフなどで斜めにカットしてV溝に加工します。
V溝の幅　：3～7㎜程度
V溝の深さ：3～7㎜程度



※必要に応じてクラック先端に貫通孔をあけます。
1）ひび割れの先端を見つける。
2）先端にφ3㎜程度の貫通孔をドリルであける。

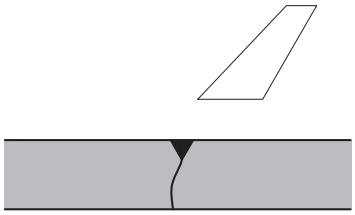
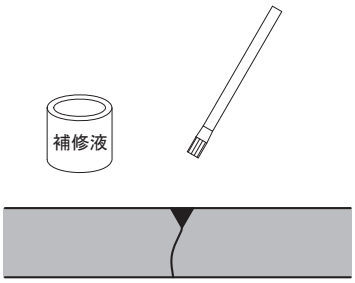


②V溝の清掃
●ナイロンブラシなどでV溝のカット面を清掃します。
※必要に応じてマスキングテープで養生してください。



③パテの充填
●V溝（先端に孔をあけた場合は孔も）に補修用パテを隙間なく充填します。
※パテがはみ出した場合は除去してください。
※シーリングによる補修処理は行わないでください。シーリングの劣化により白化したり、汚れが付着して目立つおそれがあります。
※ニチハ純正パテ（FC5000）は、弾性ではありません。

④表面仕上げ
●ヘラなどを用いて、表面柄にそって補修成形してください。
●マスキングテープを貼った場合は、ゆっくりと取り除きます。



⑤補修液による補修塗装
●補修用パテが硬化後、補修液を塗布してください。
※補修液は、色が均一になるまで十分に攪拌後、使用します。